

1. 政策・制度に関する提言・要望活動

(1) 日商及び県連を通じ、政府等へ要望活動を展開

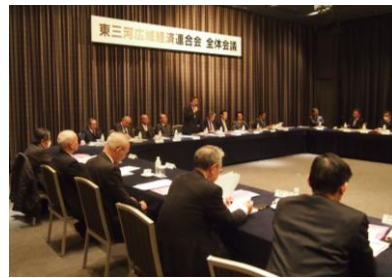
- 日本商工会議所や愛知県商工会議所連合会などの諸会議に出席し、要望のとりまとめや意見の具申等を行った。

(2) 「東三河広域経済連合会」により広域的諸課題を協議

- 東三河の商工会議所・商工会を構成員とする「東三河広域経済連合会」の全体会議を4回開催し、東三河全体の要望事項等を集約するほか、広域的な諸課題について協議、調整をするとともに、交流連携に努めた。

(3) 豊橋市に対し予算要望・政策提言を実施

- 業種業界の意見を集約し、中小企業施策、商工業関連施策、社会基盤整備等に関する政策提言・予算確保要望を豊橋市長に対し行った。



東三河広域経済連合会
H30/1/29



豊橋市への要望
H29/12/18

2. 会員サービス事業の充実と

組織・財政・運営基盤の強化

(1) 会員訪問活動の継続実施によるニーズ・課題の把握

- 会員訪問を継続実施し、会員事業所のニーズ及び課題の把握に努めた。

(2) 組織強化と財政基盤の確立

- 年度末現在の総会員数は、5,678（会員 5,469、会員でない特定商工業者 209）で、組織率 38.3%となった。
- 会員企業の福祉向上のため、会議所共済制度の推進を図るとともに、契約者の満足度向上を図るため、バス旅行や健康診断など優待事業を実施した。
- 労働保険事務組合への加入促進に努め、加入者は 309 事業所となった。
- 企業のリスクマネジメントをサポートする労災対応型商品として業務災害補償プラン及び集団扱い損害保険制度の加入促進を図った。

(3) 会員サービス事業の実施

- 中小中堅企業の海外進出等をサポートする「海外展開支援室」を通じ、販路開拓や取引拡大の支援を行った。
- 会員懇談会「お伊勢さん菓子博 2017 見学会」を企画・開催し、237 名の参加者が交流を深めた。
- 会員企業における職場の健康管理を促進するため、豊橋市医師会と連携して「健康診断事業」を実施し、264 名が受診した。また、地元医療機関と

提携し「PET-CT 検診事業」を実施し、30 名が受診した。

- 会員事業所の事業主・後継者・従業員を対象に独身男女の出会いサポートする婚活パーティー「とよはし婚活はええじゃないか」を3回開催した。

(4) 広報活動・調査事業の実施

- 広報誌「ニューボイス」やメールマガジン、HP により、会員をはじめ諸機関に広く商工会議所事業を紹介するほか、経営支援制度など有益な情報の提供に努めた。
- 一般市民に、また地域内外にも広く商工会議所の諸活動を PR するため、定例記者会見等を6回開催したほか、会員企業等の情報発信支援のため165件のプレスリリースを行った。
- LOBO 調査、中小企業景況調査、景気動向調査、大型店販売動向調査等の調査を行い、地域経済の現況把握と情報提供を行った。



会員懇談会
H29/4/26



共済加入者優待バスツアー
H29/11/18

3. 中小企業に対する支援の充実

(1) “伴走型支援”による相談対応

- 高度で専門的な経営相談に対し実践的な課題解決を図るため「豊橋ビジネスサポートセンター」を通じ、㈱サイエンス・クリエイト、豊橋信用金庫、その他関係機関と連携を図り、BCP 策定、販路拡大、IT 活用、事業承継、創業などの各種相談に対応したほか、42 件の専門家派遣を行った。
 - 弁護士や税理士、弁理士、社会保険労務士などの専門家、各種経営支援機関等による定例専門相談を84回開催し、延べ56名が利用した。
 - 国の中小・小規模事業者向けの各種補助金の活用・申請に関する相談に対応し、小規模事業者持続化補助金を中心とする116件の申請支援を行った。
 - 国の認定を受けた経営発達支援計画に基づき、伴走型小規模事業者支援事業費補助金を活用し、小規模事業者の成長ステージ（※創業期～成熟期）ごとの各種支援事業を展開した。また、中小企業庁へ第2期計画を策定申請し、2度目の認定を受けた。
- ※《創業期》豊橋市や㈱サイエンス・クリエイト、地元金融機関とともに、「とよはし創業プラットフォーム」に参画し、延べ220件の相談に対応するほか、創業・経営支援セミナーなどを実施した。
- ※《成長～成熟期》経営計画書の作成方法などを実践的に学ぶセミナーを、特に公募中の補助金申請に対応できる形で開催した。また、販促支援の面から、マーケティングや商品政策（マーチャンダイジング）、プレスリ

リース、チラシ・ホームページ作成の各テーマ別セミナーを開催した。

- ※《成熟期》事業承継セミナーを2回、開催したほか、承継予定の事業所の準備状況や課題を把握するため、47件の事業承継診断を実施した。

(2) 人材育成・雇用確保等の人財サポート事業の推進

- 就職斡旋により人材の確保や就業機会の創出を図るため、無料職業紹介所を設置し、延べ求人企業277社（延べ求人数839名）、延べ求職者148名が登録・利用し、28件の求人者紹介を行い、12名が就職に至った。
- 各種講習・講演会・能力開発セミナーを30回開催し、延べ655企業・1,167名が参加した。また、インターネット環境を利用し幅広い内容のセミナーが受講できる「WEBセミナー」を配信し、6,494回の視聴利用があった。
- 東三河広域経済連合会の人財育成事業として、高度な知識や技能を持った優秀な企業人材の育成を図るため「東三河産業アカデミー」と称して専門性の高い講習会・セミナーを18回開催した。
- 若者の職業観の醸成などを目的に、市内中学・高校生を対象に「ビジネスパーク」を春、秋の2回にわたり、延べ21校で196講座を開催した。
- 学生就職情報センターを設置し、東三河合同企業説明会を延べ616企業の参加を得て6回実施し、1,129名の学生が参加した。また、専用HP「東三河学生就職NAVI」や就活ガイド冊子「東三河就活読本」により企業情報の公開を行った。
- 日本商工会議所との共催により「簿記、販売士、珠算、日商 PC」を、東京商工会議所との共催により「福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター、ビジネス実務法務、eco 検定」の各種検定試験を実施した。

(3) ビジネスマッチング支援事業の実施

- 東三河及び周辺地域の商工会議所・商工会、金融機関・支援機関と連携し、販路拡大や事業提携先開拓などのビジネスマッチング支援事業として「地域の絆情報交換・商談会 2017」（主催：東三河広域経済連合会）を開催し、エントリー企業170社のうち135社が参加して、250件の商談を行った。
- メディアに情報提供を行うことで自社に関する内容を無料で取り上げてもらふ販促活動を支援する事業である「プレスリリースサポート」を21社が利用し、うち20社がメディアに掲載された。

(4) 小規模企業等経営改善普及事業の推進

- 商工会議所事業の柱である地域中小企業振興事業と、小規模事業者への経営改善普及事業を積極的に実施し、経営改善のための各種支援を行った。



マーチャンダイジングセミナー
H29/7/19



秋のビジネスパーク
H29/11/8

(5) 各種融資制度の普及および利用促進

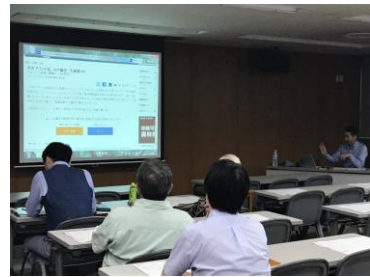
- 小規模事業者経営改善資金（通称：マル経）については、当所の要望により施策化された豊橋市の利子補給制度と併せた PR 活動を積極的に行い、融資推薦件数 28 件、融資推薦総額 1 億 8,220 万円であった。

(6) 消費税軽減策窓相談等事業の実施

- 平成 31 年 10 月の消費税率 10%への引上げ及びそれに伴う軽減税率導入に備え、相談窓口を設置し、巡回訪問・窓口相談を延べ 909 事業所に対して実施した。

(7) 経営安定に向けた支援

- 企業リスクを回避するため、ビジネス総合保険、中小企業 PL 保険、情報漏えい賠償責任保険、休業補償プラン、業務災害補償プランなどの普及と加入促進を図った。
- 地震等災害時における対応策として、BCP セミナーのほか、東海リスクマネジメント研究会及び豊橋市と共催により第 13 回防災フェアを開催した。



事業承継セミナー
H29/7/19



地域の絆商談会
H29/11/21～22

- 第 6 回ものづくり大賞を「㈱ワイエムジー」に贈った。

- 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンターの人材育成事業修了生からなる「IT 農業ネットワーク」と連携し、「IT 農業と連携による地域活性化」をテーマに「シンポジウム&アグリフェア」を共催した。

(3) 観光コンベンション事業

- 東三河の観光コンベンション機能充実に向け、豊橋観光コンベンション協会、愛知県東三河広域観光協議会、三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会などとともに、コンベンション誘致支援、海外誘客支援を行った。
- 全国からの誘客イベントとして「第 22 回炎の祭典」を開催した。
- 豊橋まつり振興会への参画を通じ、第 63 回ええじゃないか豊橋まつりの企画に意見具申するとともに、総おどりに参加した。
- 豊橋の魅力発信を推進するため、「ええじゃないか魂創出協議会」を組織し、全国に共感されるええじゃないかの考え方を「ええじゃないか宣言」としてまとめ、これに基づき「ええじゃないか 150 周年記念サミット in 豊橋」及びサミット交流会を兼ねた豊橋まつり前夜祭を開催した。



第 22 回炎の祭典
H29/9/9



ええじゃないかサミット
H29/10/20

4. 地域産業振興事業

(1) 中心市街地の活性化と商業振興

- 中心市街地活性化協議会を通じ、豊橋市と連携し、第 2 期中心市街地活性化基本計画の推進に向けた活動を行った。
- ㈱豊橋まちなか活性化センターと連携し、市電おかえりキップサービス事業、まちなかにぎわいチャレンジおかえり切符事業、共通駐車券事業、まちなかインキュベーション事業を実施し、中心市街地商業活性化に向け各種事業を展開した。
- 第 30 回都市デザイン文化賞を「イノチオグループ本社屋」、「幼保連携型認定こども園 二川保育園」に贈った。
- 豊橋発展会連盟と連携し「とよはしキラキラ☆イルミネーション」をはじめとする各種イベントを実施した。
- 豊橋市や関係商店街などとともに「広小路歩行者天国実行委員会」を組織し、春・秋あわせて全 10 回の「豊橋まちなか歩行者天国」を開催した。

(2) ものづくりの振興と新産業創出支援

- 東三河の商工会議所・商工会と㈱サイエンス・クリエイト、豊橋技術科学大学との連携組織「東三河産業創出協議会」にて各機関の連携や相互乗り入れにより、セミナーや企業見学会など各種事業を実施した。
- 東三河のものづくり企業の展示会「ものづくり博 2018in 東三河」の広域連携による開催に向け、東三河の商工会議所・商工会及び各行政機関が参画した「ものづくり博企画委員会」により、企画・準備を行った。

5. 地域基盤整備事業

(1) 三河港の整備と利用促進

- 三河港振興会など港湾関連団体と連携し、三河港の整備について、国、県等に対し、港湾計画の早期事業化を求めるほか、港湾物流機能及び防災・減災機能の強化、クルーズ船誘致に係る支援を重点に、積極的な要望活動を行った。
- コンテナターミナルの利用促進や定期航路の維持・開設を図るため、積極的な荷主訪問活動や国内外へのポートセールスを実施した。
- 一般市民に対し、港湾施設整備等の理解を深めるため「豊橋みなとフェスティバル 2017」を開催し、約 36,000 人の人出で賑わった。

(2) 広域交通ネットワークの整備促進

- 東三河や三遠南信の行政、商工会議所・商工会などと連携し、三遠南信自動車道、浜松三ヶ日・豊橋道路、東三河縦貫道、名浜道路、三河港へのアクセス道路などの整備促進等について要望活動を展開した。その結果、浜松三ヶ日・豊橋道路については、長年の要望活動が実り、国土交通省中部地方整備局により広域的な道路ネットワークとして求められる機能の検討がなされ、サービス水準や概ねの起終点等の調査が実施された。
- 「浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進期成同盟会」により、「浜松三ヶ日・豊橋道路」の整備機運を盛り上げるため、リーフレット発行や HP により情報発信を行った。

(3) 水資源の確保

- 設楽ダム建設に向けた国への働きかけ、及び水源地域の振興等について、東三河の経済界が一体となって愛知県へ要望した。

(4) 環境問題への対応

- 第 6 回環境経営賞として、最優秀賞を「㈱マルコー商会」に、優秀賞を「㈱プラネット」に、奨励賞を「㈱新来島豊橋造船」、「㈱マナック」、「三河設備工業㈱」の各社に贈った。
- 環境経営の先進事例を学ぶため、㈱紅久商店を見学する「環境経営先進企業視察会」を開催した。

(5) 広域経済圏における連携

- 東三河広域経済連合会は、「健康な地域社会創造」、「産業と地域を支える人材育成」、「東三河 DMO 研究会 WG」など各プロジェクトの推進を図った。また、豊橋技術科学大学と「ビジネス創造シンポジウム」を共催した。
- 三遠南信地域連携ビジョンの実現に向け、「三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)」に参画し、ビジョン実現に向けた重点プロジェクトの推進を図ったほか、第 2 次ビジョン策定に向けた議論を重ねた。
- SENNA 主催による「第 25 回三遠南信サミット 2017in 遠州」が浜松市で開催され、「三遠南信流域都市圏の創生～日本の県境連携先進モデル～」をテーマに、行政、経済界等のトップが討議を行った。



三遠南信サミット 2017in 遠州
H29/10/30



ビジネス創造シンポジウム
H30/2/9

6. 部会・委員会等

- 卸商業、小売商業、工業、鉄工業、繊維業、食品業、建設業、自動車関連業、理財、エネルギー、アグリサービス業、観光サービス業、港湾、不動産業、電子産業、サービス業、医療関連サービス業の 17 部会が、個別あるいは共同により講演会、視察会など、活発な部会活動を推進した。
- 第 22 期の委員会として、組織改革検討委員会、プロモーション委員会、ものづくり委員会、ええじゃないか推進委員会を設置し、それぞれのテーマについて事業推進や検討研究を行った。
- 青年部は、第 22 回炎の祭典、ええじゃないか、交流活性、NEXT YEG プラスα、総務広報、会員交流の 6 委員会において多様な事業・例会等を行うほか、他地域青年部との積極的な交流、第 22 回「炎の祭典」昼イベントを企画運営した。
- 女性会は、文化、研修、交流の 3 委員会を軸に、講演会・研修会・視察会・旅行など、多彩で充実した例会を企画・開催するとともに、創立 30 周年記念事業実行委員会を立ち上げた。また、全女連北海道大会、三河商工会議所女性会サミット、県下女性会行事などへ参加して交流を深めた。